新京日日新聞
夕刊
十二月一日
本紙定價 一部五錢 一ヶ月壹圓五十錢
廣告料金 普通一行壹圓五十錢 特別一行貳圓五十錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社 電話 編輯部專用三二二五 營業部專用三三〇〇
發行人 十河榮忠 編輯人 根本勇 印刷人 水越内之介

北支自治斷行後の我が援助を懇請す
程天津市長、劉參謀長等 多田軍司令官を訪問

【天津一日發國通】北支自治斷行を決意した天津市長程克、平津衛戍司令部參謀長劉家鸞の兩氏は本日午前七時官邸に多田軍司令官を訪問し「民衆の要望を尊重し愈よ近く自治を實施する事となつたが右斷行後は何分の御援助、御指導を仰ぎたい」旨を陳べ今日までの運動の經過を詳細開陳し諒解を求めた、これに對し多田司令官も「軍としては北支民衆の妥當なる要求は飽くまで援助するに吝かでない、殊に北支の防共に就ては至大の關心を有してゐるので極東平和の大局から正しき要望には協力を吝まない」旨を闡明するところあつたと確聞する

王正廷氏より 二億米弗借款申込み

【上海一日發國通】確實なる筋への報道に依れば蔣介石氏の特使として日本を訪問した王正廷氏は上海より日本に向ふプレシデント・ゼファーソン號で同船した米國副大統領ガーナー氏に對し軍費には流用しないが鐵道敷設及び經濟開發の費用に充てるため二億米弗の借款を申込んだ、之に對しガーナー氏は即答を與へなかつたが本國政府に轉達する旨を約したと

蔣介石氏の意を體して 何應欽氏急遽北上

【南京一日發國通】自治制實施の急電に大いに狼狽した蔣介石氏は最早電報を以てしては時局收拾は困難と見て卅日夜七時何應欽氏をして急遽北上せしめた、何應欽氏が自治の渦中に乘出して來た事は中央として相當自信のある解決辦法を用意してゐるものと見られ、或は中央が自ら南京政府に都合のよい自治制を施行せんとする肚と見られ從つて北支民衆の要望を滿足さるのみか却つて事態を惡化せしむる危險があるものとされ何氏の北上は重視されてゐる

自治委員會の飛行機 華北上空を飛翔

【北平卅日發國通】冀東防共自治委員會管下二十二縣縣長の醵金により新たに購入された飛行機は一日初飛行を行ひ戰區上空より民衆自治の趣旨を認めた傳單を撒き、引續いて平津の空に飛來、自治勸誘のビラを撒布することとなつた

栗原代議士 北支へ向ふ

國民同盟選出代議士栗原彦三郎氏は先月廿九日來滯京中の處一日午前七時〃ひかり〃にて天津、北京方面視察のため出發した

興中公司 設立案內容

【東京國通】北支經濟開發の中心機關として計畫された興中公司設立に關しては關東軍滿鐵兩者間に折衝の結果前滿鐵理事十河信二氏が理事長に就任するに內定し企業計畫も具體化して來たので近く丸ビル滿鐵支社內に創立事務所を設置して創立事務を開始する模樣である、內定せる興中公司設立案の內容左の如し
△名稱 株式會社興中公司
△資本金 一千萬圓(四分の一拂込)
△本社は大連に置き天津、上海、東京に支社を置く
△營業目的 日滿支相互間の貿易及びその斡旋、滿支兩國の經濟的諸企業に關する投資並に斡旋仲介

◇……寫眞……◇ 滿洲電業公司創立一週年記念式は本日午前九時より擧行された、社長吉田豐彥氏の挨拶—豐樂路電業クラブにて

天津の中央銀行 私に現銀を南送
リースロスこのしめし合ひか

【天津卅日發國通】銀國有令が實施されて以來保管準備委員會を設けて表面銀を保管する事となつてゐるが、その實ひそかに中央に向けて現送せらるる大洋は相當額に達するものあり廿九日午前中央銀行は又も大洋三十萬元を津浦線で秘密裡に南京に現送した事實があがつた、右はリースロス氏の北支に於る工作と相當關係深いものありと見られて居り今後倚注目に値ひするものがある

企劃處、動き出す 法權撤廢後の措置研究

滿洲國總務廳のブレーントラストたる企劃處は陣容完備と共に愈々本格的活動に入つたが同處が最初に着手せる事業は治外法權撤廢と之に伴ふ滿洲國財政の調整である、即ち明春を期して漸次實現化する日本の治外法權撤廢並に附屬地行政權の移讓乃至調整に對應して滿洲國は目下行、財政司法各般に亘る準備に萬遺憾なきを期してゐるが右に伴ひ同國豫算の膨脹は不可避的な狀態に置かれてゐるので企劃處はこの間に處して財政を不安に陷らしめざるやう萬全の策を講ぜんとするものである

天津市民間に日本語熱激增
現在の學習者二千五百餘名

今年來天津市民間に日本語熱が漸次盛になりつゝあつたが北支狀況の緊迫と共に極最近に於ては更にはかにその熱度を加へ天津市吏員養成所たる市政傳習處に於ても日本語科を設置せる程で之等學習の動機は主に投機的打算によるもの又は商取引上の便宜のためで日支提携以來日本の驚異的進步の姿をまざ〳〵と見せつけられて流行せるものであ

入滿に當り 獨經濟使節ステートメント發表

【安東國通】ドイツ經濟使節一行は卅日〃ひかり〃で安東通過北行したが入滿第一步に當り左のステートメントを發表した
我ドイツ經濟使節はキープ博士、ドイツ外務省通商局のクノール博士及び國立銀行代表ローゼンベルヒの諸氏を網羅し、十一月卅日奉天、十二月二日新京着の豫定で本使節の目的は極東諸國に於る經濟狀況並にドイツと之等諸國間の貿易關係增進の可能性につき視察研究を爲すにある、本使節は既に數週間を日本に過し國內の樞要產業都市を歷訪し今や同一目的を以て二、三週間滿洲に滯在するものであるが、茲數年間に於る世界的國際貿易の累進的萎縮に依り各國政府は外國貿易に對し多大の關心を拂ふに至つた、此事實は賠償金による外國爲替資金の缺乏と且それによる外債の重荷とが不可避的に錯雜し、外國との商取引を阻害し來つたものでドイツに於ては特に甚だしい此情勢を調整すべく最近制定されたドイツ法令及び新政策の發動を明白ならしむるのが本使節に課せられた任務である、而して吾々は歷訪諸國に於て我國との貿易關係業者に對し充分なる滿足を與へられるものと信ずる、過去に於てドイツは油、糧 の生產に當り重要視される主要消費國である外國債權者の要求により惹起された爲替相場低落は過去二年間大購入を憂ふべき狀態に至らしめた此問題解決に多大の注意を傾注し、出來得れば將來に於て滿洲產大豆に對する我國市場を擴張せんとするは我等使節の意とするところである

昭和十年の回顧(一)
押寄す學童群 五千名を突破
各學校に描く非常時光景

今年も非常時にあけ非常時に暮れてゆく…滿洲國成立後既に滿三年を經過し國都建設もいよ〳〵本格化されていつた、躍進また躍進吾等に取つて本年もまた朗かな記憶の連鎖である、吾等はいま慌しい歲の瀨に立つて思ひ浮ぶがまゝに過ぎさにし一箇年の步みを振りかへつて見やう

地方事務所關係

新京へ新京へ、滿洲景氣の波に乘つて邦人群の殺到は前年に引續いて今年もまた物凄かつた、殊に本年は電々會社の新築移轉をはじめ、關東局その他各機關の整備が一層拍車をかけて相も變らぬ人口の氾濫だ、その結果はひいて學童の洪水となり、小學校の增設となつた、白菊校が新設電に堂々なる校舍を建て開校したのが恰度今から一年前の十一月だつた、續いて八島校が本年一月から開校した、これで事變いらいの收容難に苦められた

既設

二校もどうにか一息つくことゝなつたがいまこれらの數字を拾つて見ると、昨年十一月一日現在の初等各校の在籍數は室町校千五百五十六名、西廣場校千八百三十七名、計三千三百九十三名で、滿一ヶ年後の本年同月同日現在では
室町校 一、四八六名
西廣場校 一、二三七名
白菊校 一、一三二名
八島校 一、一四六名
計 五、〇〇一名
これを前年に比較して實に千六百名の增加であり、一時の收容難は多少緩和されたとはいへ、各校とも今以て超滿員の所謂教室非常時をつゞけてゐる、而して學童の洪水はこゝ當分おさまりそうにもない

竣工

は今まで押込められてゐた不自由な家庭生活から開放され臨時やもめが續々家族を呼寄せることになるであらう、そこで計畫されたのが引續き第五第六兩小學校の新設であつた本年解氷とゝもに工事に着手することゝなり一方は南新京に、他方は東五條通に目下竣工を急いでゐるが、今のところ本年中には兩校とも完成し來年一月中旬には、開校の豫定である、かくてつひ此の間まで新京の小學校といへば室町と西廣場とのみ限られてゐたのが、こゝ僅かに一年にして新舊合せて六校を數へることになつた、初等教育の事たるや國民の義務として當然なさなければならぬ問題とはいへ、これはやがて教育費の莫大な膨脹となり、その間地方事務所當局をはじめ關係當局者の並々たらぬ苦心のあつたことは吾々の想像し得られるところだ、內地人小學校に比較して案外少いのは普通學校だがこれは前年が七百三十一名

本年

は八百四十五名 次は滿人教育の公學校である、滿洲國の成立と共に滿人の向學熱が素晴らしく勃興したため、本年春の如き新入學定員僅かに百卅名のところへ五百餘名の多人數が押寄せる始末でこゝにも學童の波、波 波だつた、その大多數は切角入學の希望に燃えながら思ひかなはず悲運に泣くよりほかなかつたが幸ひつい最近民政部前に開校した特別市立大經路小學校は年々定員百名を限つて附屬地內滿人兒童を委託教育することになつてゐるので來春は多少とも緩和されることになつてゐるかくて初等學校といはず中等學校といはず膨脹で靜かなるべき學園も實に目まぐるしいばかりの慌しい裡に、一ヶ年を送ることゝなつた

兩事變行賞 陸海軍關係分發表

【東京國通】滿洲、上海兩事變關係の陸軍々屬四千二百三十二名、海軍軍人二千七百二十五名、海軍々屬一千五百十三名に對する論功行賞は卅日上奏御裁可を經て發表された

海軍首腦部異動

【東京國通】海軍定期異動の一部は十一月中旬行はれたが其際保留の海軍首腦部異動は左の如く二日發令の筈である
補軍事參議官 横須賀鎮守府司令長官 海軍大將 末次信正
補横須賀鎮守府司令長官 第二艦隊司令長官 海軍中將 米內光政
補第二艦隊司令長官 軍令部次長 海軍中將 加藤隆義
補軍令部次長 軍令部第一部長 海軍中將 島田繁太郎
補佐世保鎮守府司令長官 第三艦隊司令長官 海軍中將 百武源吾
補第三艦隊司令長官 海軍兵學校長 海軍中將 及川古志郎
命軍令部出仕 海軍大學校長 海軍中將 井上繼松
補海軍大學校長 練習艦隊司令長官 海軍中將 中村龜三郎
命軍令部出仕 軍務局長 吉田善吾
補軍務局長 教育局長 豐田副武
命軍令部出仕 軍需局長 海軍中將 小野寺悳
補軍需局長 海軍機關學校長 海軍中將 上田宗重

軍縮全權 英國代表決定

【ロンドン卅日發國通】英國政府は十二月九日開會の海軍縮少本會議に臨む英國全權團の人選中であつたが卅日左の如く公式發表を行つた、日米兩國代表部が最初英國側の豫想してゐた以上に强力な陣容を整へてゐる事實に鑑み英國政府も外相、海相を全權に推しその下に海軍、外務の首腦を配し堂々たる陣立である、全權團の氏名左の如し
全權 外相ホーア 海相モンセル卿
顧問 軍令部長チャットフィールド提督 大藏次官フイッシャー 外務參事官クレーギ 海軍中將ジェームス

制裁十八人委 十二日開催

【ジュネーヴ廿九日發國通】制裁十八人委員會議長バスコンセロス氏はラヴァール首相、イーデン無任所相と協議の結果、十二月十二日午前十一時委員會を開催するに決定した、次回委員會ではイタリー國に對する石油輸出禁止問題のほか銅、棉花等に關しても同樣討議される筈である

山崎理事來京

山崎滿鐵理事は二日午前八時五十分來京の豫定である

曾我祐準翁逝去

【熱海國通】明治の元勳、貴族院議員、子爵曾我祐邦氏の嚴父曾我祐準翁は豫て肺氣腫を病み熱海の別莊で療養中のところ三十日午後十時四十九分逝去した、享年九十三歲

人事往來

▲熊平源三氏(熊平洋行主)三十日午後來京國都ホテル
▲五藤軍作氏(神戸川崎造船所技師)同
▲吉田連氏(石材販賣)一日午前來京同
▲川本茂次郎氏(滿洲化學工業)三十日午前大連へ
▲右近又雄氏(同)同
▲深水壽氏(同)同
▲高橋龜吉氏(財政部囑託)同日北へ
▲山本熊太郎氏(西安炭坑)同午後奉天へ
▲利行睦生氏(同理事)同
▲于宗謙氏(侍從武官)三十日午前歸京
▲御影池辰雄氏(關東局警務課長)同
▲濱本少將(濱本部隊長)一日午前ハルビンへ
▲徐程九氏(ハルビン大同酒精會社長)三十日午後來京ヤマトホテル
▲貝瀨謹吾氏(滿洲技術協會長)同
▲池田長康男 同
▲鈴木芬氏(大阪商業)三十日午後來京名古屋ホテル
▲荒牧寬氏(綏芬河國境警察隊)同
▲菅原憲亮氏(奉天商業)同
▲宮本源太郎氏(奉天松下電機會社員)同
▲大城戶三治氏(陸軍中佐)同
▲蒲地繁氏(京都東本願寺)同

天氣と氣溫

明日の天氣 西の風晴一時曇
日の出 午前六時五十三分
日の入 午後四時二分
月の出 午前十一時廿一分
月の入 午後十時二十八分
けふの氣溫 最高零下三度八 最低零下八度八

女八人合作時代… 最後の切札八枚 (合作) 大林梅子 若水絹子 夏川靜江 飯田蝶子

〓女?女?女?〓 飯田蝶子作
12 誤解 (十二)

「ぢや、事實だとしたらどうします?」
「事實だとしたら?」
千滿子は、あふむ返しに斯う云つて、
「さうですわネ。あたし、お金が澤山あつて、親切な方でしたら、大抵、異存はないと思ひますわ」
これが、十八の娘の云ふことかと、昌造が、吃驚して、眼を瞠くした時に、
「ホ、ホ、ホ……でも、これは冗談! あたしなんかに判りませんわ」
すらりと、滑り拔けてしまつたかうなると、昌造は、自分の肚を見られると知りつゝも、追求して行く氣になつた。
「いや。冗談でなしに、若し、そんな男が貴女の近くにゐるとしたら、どうします?」
「ですから、直接、ぶつかつて見なくては……」
斯う云つた千滿子の顏も、いくらか眞面目だつた。昌造は、もうこれまでと云つたやうに、決心の色を見せて、
「千滿子さん。現在、直接ぶつかつてゐるぢやありませんか」
と、悲壯な輝きを見せて云つた瞬間。時を與いてゐた千滿子は、ハッとしたやうに立上ると、困惑した表情で、昌造のはうを見てゐたが、
「いやですわ。飛田さん。そんな事仰有つて、からかつちやア!」
「いや。からかつてなんかゐません。僕は、眞劍なんです。僕は、疾うから千滿子さんを愛してゐたんです……」
昌造は、もう一生懸命だつた。すべての理性を無くしてゐるのだつた。だが、理性は、失つてゐながらも、まだ、彼のどこかに理智の目が開いてゐて、それが、とうから貴女を愛してゐたなどと、彼に云はせたのであつた。
すると、千滿子は、後退りするやうに廊下のはうへ出て行きながら、
「飛田さん。あたし、戀人は、一人あれば澤山ですワ……」
「えツ?」
昌造が、はツと我にかへつた時に、
「あら。あたし、母さんにしかられちまふわ。ごめんなさい!」
と、言ひ捨てて、ばた、ばたと廊下を逃げるやうに立去つて行つた。茫然と、虚空に眼をやつてゐた彼は、
「畜生!」一人、當つて碎けやアがつた」
と、思はず、吐き出すやうに云つて、泣き笑ひのやうな、顏をした。

……僕は、最早一人で思つてゐることに堪えられなくなりました。僕は、貴女をこころから愛してゐるのです。このやうな事を、書面にして申上げるのはどんなものかと思ひましたが、併し、泌々お目にかゝつて、お話をする機會を得られなかつたものですから、どうか惡しからずお許し下さい。此上は、貴女の優しかるべき御返事を、高鳴る胸を押へてお待ち申して居ります。……
昌造は、こんな文面の手紙を三通ほど書いた。そして、同時に投函したのだつた。
其の宛名先を見ると、一通は、昌造のゐる下宿屋の近くにある松濤堂と云ふ雜貨屋の娘で、喜美子年齢は、モウ二十歲を越してゐるが、洒落としては或ひは以前の東に結つてゐるか、或ひは珍らしい日本髮で冬は黑襟のかゝつた着物なんか着てゐる下町風の娘であつた。
それから、もう一人は、彼が以前勤務した時の[illegible]と云ふ女である。

防空知識普及に 來年は一層力瘤
きのふ防空協會役員會で 豫算その他決まる

滿洲防空協會では三十日午後ヤマトホテルに役員會を開き十一年度豫算を附議決定したが、明年度の新事業としては此の上とも一層防空知識の普及向上に努めること〻し、新たに防空講習會を開く事、新聞の利用を一層効果的にすべく各新聞社との連絡、ラヂオの利用、防空献金に今一歩積極的に乘出すことなどを申合せた、明年度豫算の內容は左の通り（單位圓）

△收入の部

項目	金額
滿洲國補助金	五〇、〇〇〇
滿鐵補助金	三〇、〇〇〇
關東局補助金	一〇、〇〇〇
雜收入	五〇〇

△支出の部

項目	金額
俸給	二六、一〇〇
住宅手當	五、六〇〇
賞與	四、四〇〇
旅費	二、二〇〇
通信運搬	二、〇〇〇
器具什器	一、〇〇〇
消耗	二、五〇〇
家屋	[illegible]
圖書印刷	五〇〇
雜	二、〇〇〇
事業費	
調査研究	二、〇〇〇
防空普及	一八、〇〇〇
献金募集	五、〇〇〇
集會	二、〇〇〇
旅費	二、〇〇〇
諸手當	二、〇〇〇
記章及表札	一〇、〇〇〇
雜費	四、〇〇〇

馬二頭强奪

三十日午後十時五十分頃特別市孟家橋興隆街門牌二十六滿人李桂林方に棍棒所持の三人組强盜が侵入家人を强迫して馬二頭を强奪いづれにか逃走した

民政部官吏宅に 四人組强盜押入る
二百餘圓の金品强奪

一日午前二時頃新發屯滿洲國民政部勤務澁谷彌五郎氏宅に新劍所持の四人組强盜侵入し金品二百餘圓を强奪逃走した——一日午前二時十分頃新京特別市朝陽路長慶胡同二〇一號滿洲國民政部社會科勤務澁谷彌五郎氏宅に新劍を所持せる四人組强盜が電話線を切斷して外部との連絡を斷ち裏口窓硝子を破壞して屋內に侵入し所持せる新劍を振つて家人を脅迫し家內隈なく搜査時價百圓の狐皮二枚同七十五圓のロシヤ毛布四枚其他錦前三個金指輪一個、帶止一個現金二十五圓計二百數十圓を强奪悠々といづれにか逃走した、屆出により所轄新京領警、新京署、滿洲國警察では時を移さず市內外に非常線を張り搜査に當つてゐるが未だ逮捕されない

輸入組合 けふから賣出し

昭和十年不景氣よさようなら暮れ殘る師走の街々に漂ふあわたゞしさは例年の事ながら商店街は早くも色めき出して來た商人は最後の奮鬪物凄く躍起となつて笛を吹き鳴らす輸入組合では年末大賣出のトップを切つて本日（一日）より國都發展祝賀歲末聯合大賣出を始めたが景品は一等一千圓、二等五百圓、三等二百圓四等一百圓其他十一等まで組合商品券三萬一千二百三十八圓余の籤あり當籤發表は昭和十一年一月十六日附各新聞紙上に發表される、抽籤方法は從來と異り一等番號を抽籤すれば他は間隔により容易に知り得る如き合理的なものである一等金一千圓福運者は誰？

以上の事を自白したがなほ多數餘罪ある見込みである

警官を裝ふ
田舍者いじめ逮捕

本年晩夏以來警官をよそほひ田舍から新京に出てくる滿人農夫をおびやかし數十回に亘り金品を强奪した稀代の賊を二十日午後八時頃西公園派出所巡査が逮捕した——紺セルの洋服をまとひ附屬地門を徘徊し

田舍 から出て來た農夫を捉へ『俺は警察官だ貴樣の身體檢査の必要がある』とすつかり警官になりすまし本年秋以來數回に亘つて農夫の金品を奪つて平榛里あたりに足繁く通つてゐる不良徒輩の横行に新京署では極力犯人搜査のところ三十日午後八時頃市內西公園附近を通行してゐた農安生れ農夫魏某を捉へ身體檢査に及ばんとするので魏は怪しみ脱兎の如く西公園派出所に救ひを求めて飛び込み派出所員がすぐあとを追つて八島通橋上にて被疑者と格鬪の上逮捕本署に

引致 取調べると本籍河北省生れ住所不定無職李成祥（二九）で今まで十三件九百餘圓をしぼつ

最後迄奮戰の
佐藤巡査の屍体發見さる

百草溝領事分館汪清分署の佐藤幸作巡査は去る九月十一日大肚川東方二里の地點の匪團討伐に出かけたまま行方不明となり行方搜査中であつたが十一月廿四日小汪溝河附近で屍體が白骨となり發見、現場にはシャツ、襯褸帽等投出されて最後迄勇敢に鬪つた同巡査の戰死の有樣が明瞭に看取され附近の樹木には健氣にも救援隊の目標として彈丸つきた銃がかけられてあつた、同巡査は昭和五年十二月任官以來勤勉精勵、署內の範とされてゐたもので葬儀は特に分館葬として十二月十日行はれる筈

光榮の乳人 福島治さん（長野縣）

特別市の 第四回健康週間

特別市公署では來る十二月二日より第四回健康週間を擧行一週間を左のプランに分つて市民の健康增進を圖る事となつた

十二月二日 淸潔デー 淸潔に注意する事
同 三日 體育デー 戸外運動を行ふ事
同 四日 防疫デー 身體檢査を行ふ事
同 五日 榮養デー 飲食榮養に注意の事
同 六日 休養デー 體力消耗を節制する事
同 七日 戸外デー 午後一時より大同公園に於て寶探し擧行

降り積つた雪を 喜ぶものあり！
雪かき、雪除けに千三百廿圓

南廣場クリー市場の苦力たちはどんよりと曇つた雪空を嬉しそうに仰いで待つてゐるのだ、それは

冷い 雪さへ積れば雪かき人夫に臨時召集令が降つて懐が溫くなるからです、きのふ夕暮から降出りした新京の雪は朝になつて三寸餘りも積つて街ゆく人も困り拔いてゐること〻て下つたのが苦力召集、けさ六時半中央通り市瀨工務所で集めた雪かき人夫がざつと百五十名これは附屬地全般に分れてせつせと雪除けを始めたが彼等は一日八十錢合計百二十圓が新京の苦力の懐にうるほつた譯、それに明日あたりから矢張り市瀨工務所の請負で百台位の荷馬車を繰り出して雪を入船町の頭道溝、公園西の附地、南廣場大下水のマンホールなどへ運搬するのに三、四日を要する荷馬車人夫は

一台 に對して日當三圓で四日かゝればこれまた千二百圓、雪除けから跡始末までけふの雪は一千三百二十圓を附屬地から奪つたことになる

中等檢定試驗期

十一月廿日で締切つた中等學校（中學校、女學校）卒業資格檢定試驗は十二月二日より七日迄關東局で行はれること〻なつた

克山縣方面の
ペスト對策協議

齊北、濱北線沿線に於けるペストは克山縣下の三十五名を筆頭に通北縣下十名、德都縣下八名、克東、富裕兩縣下各七名、北安縣下三名、海倫一名計七十二名の多數に上り衛生當局では必死の防疫陣を張つて撲滅を期してゐるが、三十日午後一時半より民政本部に於て黒井技正、安村哈拉海調査所長、猪部保健所長、鳥澤軍醫正、阿部技術處長等關係各技術者參集善後策を協議した結果、本一日黒井技正、安村調査所長は新京發現地に赴き萬善の策を施すこととなつた

村田晃平氏赴任

電々會社放送課係長村田晃平氏は今回ハルビン放送局長に榮轉三十日午後五時四十分發

中村遞信局長の 挨拶狀來る

あじあで家族同伴赴任した先に擧行された全滿郵便現業事務競技會に就て中村遞信局長から二十九日附の挨拶狀を本社に寄せた

社宅評價を 滿鐵が全滿に 亘つて行ふ

【大連國通】滿鐵は近く財政調査の一部である全滿社宅の評價に取りかかる事となり二十九、三十の兩日各地々方事務所より社宅係當事者約二十名が本社に集合、評價の條件其他の打合せを行つた、出席者は歸任後直に各所管社宅全部の評價を行ふ事となつたが今回の評價は近く行はるべき滿洲地方施設の滿洲國移讓の際に於る財產評價の基礎となるもので慎重を期して居る

葉峰線 けふから本營業

葉柏壽、赤峰間鐵道は豫て滿鐵會社に於て請負工事中のところ十一月三十日工事完成したので滿洲國政府は滿鐵會社に之が經營を委託することとなり滿鐵會社は十二月一日より該鐵道の運輸營業を開始する

綏化縣電報局 燒失

【ハルビン國通】今朝三時突如綏化縣電報局內ペチカより發火し同建物を全燒して五時漸く鎭火したが損害約三、四千圓の見込みである、急報に接し當地管理局では直ちに十三名の救援隊を急派した

近頃の南行は 恰かも苦力列車
先月中に五千六百九十六名

來る日も來る日も朝六時二十五分ハルビンからの列車及び九時三十分發營口ゆき並びに晩の十時三十分發大連ゆき普通列車は山東苦力超滿員の客車が三輛、四輛を增結して南下苦力列車の觀がある、先月になつて著しく多くなつた山東歸省クリーが五千六百九十六名、一日平均二百名

病氣恢復して 酒井參謀長 昨朝大連着

【大連國通】月餘に亘り九大病院に入院療養中の支那駐屯軍參謀長酒井大佐は卅日午前八時大港の熱河丸で來連したが語る

發病以來丁度二ケ月になる發病當時の病氣はすつかり治つたが其の後疲れと神經衰弱か充分恢復しない、當時から見ると二貫目も痩せた、焦つても仕方がないからゆつくり大連にでも靜養しようかと思つてゐる今最も注目の的となつて居る北支の獨立問題は何も日本人が臆測を廻らす要はない北支に關する問題は支那人の問題で支那人にさせて置けばよい、若し國民政府の遣り方が限度を越えて日本人の權益を侵したり滿洲國に對し害を及ぼす樣な事があれば其時こそ日本軍として斷乎たる決意を示すべきである

尙同大佐は當分滿洲國に滯在の上北支に向ふ豫定である

歐亞航空公司の旅客機 平涼で墜落 死傷者四名

【上海國通】去る十一月二十七日西安蘭州間の平涼附近で西安行の歐亞航空公司旅客機墜落しドイツ人操縦士、機關士各一名は慘死し二名の中國人の乘客は重傷を負ふた何分遭難現場が交通不便なる未開地である爲め未だ何等詳細なる報道なく右旅客氏名及び墜落原因等全く不明である、尙救援隊は昨日午後自動車で現場に急行した

權度局の 哈爾濱分局設置

滿洲國實業部は權度局官制に依つて來る十二月二日より哈爾濱特別市に權度局哈爾濱分局を設置することにした

西公園の リンク開き

新京體育聯盟滑氷部の西公園新設スケートリンク開きは一日午後一時から絶好の天候に惠まれ部員出席し新京神社神官の祓式、玉串奉奠終つて野村社會主事の挨拶についで堺田、田中兩幹事の華かな模範競技が行はれ同二時から一般の無料開放をなし盛大にリンク開きを終つた

昨日或る所で近頃のカフエの評判番附をこしらへてたのを覗いた▲やはり三笠町のあたりから、富士町の方への一群が一體にいいらしく、モナミ、亞細亞會館、トリオ、富士、銀座、白馬、香蘭など〱が上の方に書いてあつた▲別格の方に行くと、二葉、モダン銀座、銀パレス、處女林、ラツキー、精養軒、ロートル、クローバーその外色々……▲話は今度は微に入つてモナミの榮子、葉子が餅喰べに日本に歸るとか、モダン銀座のマリ子がモンテカルロへ移るそうだとか、二葉の幸枝が長春回顧談の一席模寫とか……色々とニユースを貰つたです

あす（二日）

△新京商業學校々舍增築落成展覽會 午前九時同校內
△特別市第四回健康週間開始

今晩の主なる放送番組

▲六・五五 連續講談大久保武藏鐙（第一席）（東京）大島伯鶴
▲七・三五 謠曲（東京）青山薫
▲七・五〇 物語「北風吹けば」（東京）出演新國劇

板花部隊入營兵 元氣で着京

雪の都、北滿第一線の國防重大任務を帶びてけふ午後三時十分着軍用列車で國都に第一歩を印した南嶺板花部隊新兵さん〇〇〇名は廣島まで迎へにいつた秋田中尉に引率され板花部隊長、副官、各中隊長を始め在鄕軍人、國防婦人、一般多數市民の盛大な歡呼裡に驛頭に迎へられ、隊長の訓辭がホームであたへられ一旦休憩の上雪に埋れた驛前廣場に整列し、市民代表の五十嵐鄕軍聯合分會長から歡迎、感謝の辭を受け、同四十分原隊から差廻しの自動車に分乘、一路南嶺に向つた

四日入隊式

一日內地から到着した板花部隊新入營兵〇〇〇名は來る四日午前九時から入隊式を擧行される

寫眞 板花部隊に入營の新京出身者四名の送別

雪に淸められた
けさの國恩感謝國旗掲揚式 集ふもの六百餘名

本年最後の國恩感謝國旗掲揚式は白雪に淸められたけさの新京神社境內で七時から嚴肅裡に催された、參列者は新京商業生徒、職員、地方事務所員、在鄕軍人の各團體を始め一般有志多數で、早朝白雪を蹴つて神社へ〱と集り、定刻七時には六百餘名が會場に整然と整列、野村主事の開會の挨拶に次いで國歌合唱と同時に大國旗はスル〱と空高く揚り、終つて皇居、伊勢神宮に遙拜、神社參詣、續いて新京公學校長大隈謝次郎氏の〝日滿兩國民の精神的不可分關係の結成〟について約三十分に亘る講話あり同四十五分解散した

紅、白粉なくとも美しい お美こそ
女性の持つ素晴らしい魅力です
金鶴香油
株式會社野村商店

ラヂオ　あすの番組

(M.T.C.Y 新京放送局)　二日(月曜)

(朝)

六、三〇　建國體操(滿語)
六、五一　ラヂオ體操(東京)
七、一〇　入港船の御知らせ(大連)
氣象通報
七、一五　初等滿語講座(奉天)　講師　秋父固太郎
七、四〇　初等日語講座(奉天)　講師　近藤喜助
八、一〇　朝の音樂(大連)
八、三〇　經濟市況(東京)
九、〇〇　早晨演奏
九、二〇　料理獻立(奉天)　家事講習所
一、豚の輝揚げ
二、の千大根和へ　奧野倭文子發表
九、四〇　經濟市況大連
一〇、〇〇　家庭講座　十二月の暦　赤塚久子
一〇、二五　家庭メモ
一〇、三五　經濟市況(大連)
一〇、四〇　經濟市況(東京)
一〇、五九　時報(東京)

(晝)

〇、〇一　一、四〇　ニュース(東京、引續き新京)
經濟市況(大連引續き新京)
〇、二〇　晝の演藝(レコード)　ダンス曲集
一、アルゼンチン(ワンステップ)
二、ポンプと一緒に(トロット)
三、月のキャンプ(トロット)
四、別れ來て(タンゴ)
五、パック、ピーツ(トロット)
〇、四〇　建國體操(滿語)
一、〇〇　白天演藝(哈爾濱)
清唱　貴妃醉酒
唱　楊玉坤
胡琴　李俊峯
南鼓絃　王品三
一、二〇　ニュース(滿語)
二、〇〇　經濟市況(大連)
引續き　日用品値段(滿語)
二、二〇　成人講座(滿語)　大同報社記者　唐新我
關於華北自治(一)
二、四〇　下午演奏(東京)
二、五〇　經濟市況(東京)
三、〇〇　ニュース(東京)
三、三〇　經濟市況(大連、引續き新京)

三、五〇　ニュース
四、三〇　ニュース(鮮語)
引續き　演藝(鮮語)
四、五〇　ニュース(英語)
五、〇〇　子供の時間(哈爾濱)
哈爾濱第二小學校兒童
一、唱歌「冬」　五年女子十九名
二、ハーモニカ合奏　第二小學校ハーモニカバンド
(イ)ラヂオ體操
(ロ)靴が鳴る
三、獨唱「七ッの子」　五年女子　飯倉千代
四、ピアノ獨奏　三年女子　安藤百合子
(イ)バイエル一〇四番
(ロ)メロディ三八番
五、唱歌「砂山」　五年女子十九名
六、獨唱「鳳龍」　服部ひろ
七、ハーモニカ合奏　第二小學校ハーモニカバンド
軍艦マーチ
指揮及伴奏　川　先生　谷岡　先生
五、二〇　コドモの新聞(東京)　關屋五十二
五、二五　氣象通報　番組豫告

(夜)

六、〇〇　ニュース(東京)
六、二〇　今晩の番組
六、二五　官廳公示　政府公報(滿語)
六、三〇　國民の時間(奉天)
關於省制實施紀念　奉天省長　[illegible]
七、〇〇　連續講談(東京)　大久保武藏鐙(第二席)　大島伯鶴
七、四五　小唄(東京)
唄　藤村孝
三味線　藤村孝笑
八、〇〇　管絃樂(東京)　新交響樂團
指揮　山田耕作
指揮　服部正
八、三〇　時報、ニュース(東京)
引續き　ニュース
八、四五　ニュース、經濟市況
氣象通報、番組豫告(滿語)
九、〇〇　舊劇(哈爾濱)
唱　二進宮　于佐臣　呂升三　李秀山
場面　陳慶元　外五名
一〇、〇〇　北滿の時間(露語)(哈爾濱より)

滿鐵社員の作曲した組曲「滿洲の印象」

第四回音樂コンクール入賞作品

新交響樂團演奏

〔後八時　東京〕

……山田耕作さん

一、指揮　山田耕作

組曲「滿洲の印象」　松浦和雄・作曲

(イ)滿洲入街の朝
(ロ)橇と行列
(ハ)曠原と楊柳
(ニ)城內の祝日

松浦和雄氏は大正十年二高在學中、作曲を獨學し、東京帝大在學中フルートを學ぶ、昭和九年第三回コンクールに入選す。滿鐵企畫部社員。

これは四つの小曲から成る組曲で、新興國滿洲の風景畫である。音で描いた水彩畫ともいふべきだらう。四曲ともに標題の示すやうな雰圍氣をつたへる佳作。

二、指揮　服部正

西風にひらめく旗

……服部正さん

服部　正・作曲

服部正氏は慶應義塾法學部在學中よりマンドリンクラブの指揮者、昭和五年菅原明朗氏に師事、作品はAKより屢々放送さる

これは「旗」といふ標題をもつ四つの樂章から成る交響曲の第一樂章、ソナタ形式による樂曲で西風にひらめく旗を描かうと試みたと作曲者は語つてゐる。

連續講演　第二席

「大久保武藏鐙」

【後七時】大島伯鶴

家康は三千餘騎の手勢に防ぎを命じ、本多、大久保、南光坊を従へ馬を早めて的所もなく落ち延びほつと一息入れる間もなく、彼方の山影より六文錢の旗の旗ひるがへし、眞田幸村これに在りと打つて出た家康はますます狼狽して逃ぐるに行手の山の端此方の藪蔭より眞田の伏勢現れ、十重二十重に取圍まれ身體こゝにきはまつた。折から一發の狼火と共に彼方此方の燎火はぱつと燃え盛り、眞晝の如き中に二千五百の兵を率ゐた眞田幸村は駒を家康の面前へ進め

「先の信州上田の城主眞田左衞門尉幸村豐臣家の恩顧に報ゆるため右大臣家の恩召により軍師の役を承り、盡せども武運拙く大阪の運命旦夕に迫れり、然れ共某軍師として一方の旗頭を承る身の面目にせめても大御所の御首一つを賜りたし」と申入れた。家康も今は是非なしと覺悟を決め「白髪首進上致す」と鐙通しを右手に突立てんとする刹那一天俄にかきくもり、車軸を流す豪雨に燎火は一度にどつと消え邊りは眞の闇と化した。この機逸すべからずと本多、大久保、南光坊の面々は家康を肩にかけ、闇に紛れて逃げ延び、とある村へ入り一軒の通夜する百姓家をたゝき、說得して金子を與へ、棺の佛を引出してそれへ家康を入れ、三人もそれぞれ百姓に姿を變へ、簑笠に面を包み、葬禮の行列に立混つて菩提寺へ赴いた。

幸村は無念骨髓に徹し、形相物凄く後を追つかけ、葬列を追ぬいて駒の立髮を返し、道を遮り。四人の落武者をたづねたが、百姓等は何れも恐れて知らぬ存ぜぬの言葉に幸村も今は家康の武運めでたきを嘆息して引上げんと、すれ違ふ行列の中に目ざとく大久保本多等の姿を見付け持ちたる槍を棺目がけて突き下したがねらひは外れて棺は路傍の泥田へ落ち込み家康の一命既に危き所へ井伊掃頭守直繼一萬餘騎を率ゐて馳せ參じ幸村も衆寡敵せず引揚げた。

藤村孝さんが唄ふ　いきな小唄集

後七時四十五分東京から

三味線　藤村孝笑

一、初雪に

本調子「初雪に、ふりこめられて向島、二人がなかにおきごたつ、ささのきげんのつめびせは、すいたどうしのさしむかひ、うそか浮世か、浮世が實か、まことくらべのむねとむね。

二、かさね扇

本調子「かさね扇はよい辻占よ二人しつぽりだき柏菊の花ならいつまでもいけて眺めて居る心色も香もある梅の花

三、殘る月

本調子「殘る月、なんの氣もなく窓の竹、うつしてうれし、さゝきげん、よひのくぜつに、明の鐘

四、當代めづらし

本調子「當代珍らし派手姿いろよき花の二人連れ、はや二ン月の頃かとよ、おさん茂兵衞はかくばかりいかに茂兵衞どんおさんさん明日は丹波へ落ても見ましよ、靜かに御座んせ、そろそろとおさんと茂兵衞どん丹波へおちるあとに續いて追手の方がた、おさん茂兵衞はのがしはせじと、からめとつて引立て都へ渡した

五、宵の口舌

三下り「宵の口舌に、白たけあとを、啼いてとほるやほとゝぎす、松のあらしに夢うちさめて、あすのわかれが、アゝ思はるゝ

六、又の御見

三下り「又の御見を、樂しみに、かへしたあとでふうわりと、鳥が鳴く、君は今駒形あたりなんとなく、むかしも今もかはらじと、人のなさけと戀の道

ラヂオ相談

新京放送局ラヂオ相談所　武谷九十九

素人にも分る故障の手當法

▲ラヂオ受信機の故障は、人間の病氣の樣に、多種多樣な現象を起しますが、人間は誰しも風邪をひくとか、腹が痛むとか、頭が痛むとか云ふ樣な病氣が多い樣にラヂオ受信機でも、故障の起き易い場所は、大體定つたやうであります。稀にはどうしても分らぬ故障と云ふものが無い事もありませんが、大概は、一寸其の故障受信機の狀況を點檢する事に依つて見當のつくものであります。以下、素人の方にも大體見當がつく故障の手當法に就いてお話し致しませう。

▲(一)よく聽こえてゐたのが、段々前よりも音が弱くなつて來たと云ふ樣な場合大低眞空管のどれかが老衰したのであります。此の時は一つか精々二つを新らしく挿し換へると大概元の樣になります。三つ以上が皆んな一緒に老衰する場合は割に少ないものであります

▲(二)少しも聽こえなくなつた場合は先づ眞空管にあかりがつくかどうかを調べます。一つもあかりがついてゐなかつたり全部がひとりでについたり消えたりする時は、電燈への挿込口か受信機のスヰッチ(開閉器)の所が惡くて、よく接觸しない爲ですから、誰にでもすぐ直せます。次ぎに一つだけあかりがついてゐない樣な場合は、其の眞空管が切れてゐるか、或は其の脚が旨く、はまつてゐないのですから、輕くゆすぶると脚が旨く、はまつてあかりがつく樣になります。眞空管は皆あかりがついてゐるのにラヂオが少しも聽えぬと云ふ樣な時には、ラッパに耳を近づけて見て、ブーンと云ふ微かな音がしてゐるかどうかを確かめます。若し其の時、全然微かな音もせぬ樣なら、ラッパが切れたか或は其の紐の先がうまく金物に接觸してゐないのですから其れを調べます、少しでもブーンと云ふ音が聞こえれば、ラッパは大丈夫ですから、其の時は、眞空管の頭を指で輕く彈いて見ます、若しボーンと云ふ樣な音がラッパから強く出る樣なら、アンテナかアース線に氣をつけます線が切れたり、受信機から外れてゐないかを調べます其れでも異狀の無い時は、之は受信機の內部の部分品に故障が生じた譯ですから一寸素人の方には直し難いです、放送局のラヂオ相談所なり、もよりのラヂオ屋さんに持つて行つて調べて貰ふ事です。私共の樣にラヂオ相談所の仕事をしてゐますと、よく素人の方が譯も分らぬのに御自分でなほそうと受信機の內部を目茶苦茶にしてから持參なさる方がありますが斯樣な受信機になりますと直ぐなほるべき所の故障が仲々原因を探すのに骨がおれてつひには配線の違ひを發見したと云ふ樣な事があります。

日曜特輯 少年少女版

十二月の諸行事

義士討入記念日（十四日）

たゞしく言ふと陰暦元祿十四年のこの日は有名な赤穗浪士の討入の日で昔は「義士忌」と云つてゐましたが、今では義士の討入記念日として各種の催しが多地で行はれます。

年の市

年の市、また年暮の市ともいひます。十二月なかばから月末にかけて門松や七五三飾りなど來るべき正月に用ふるお祝ひ物を商ふ市です。何時頃から始まつたものかはつきりしませんが、相當古い昔からやつてゐたらしいです。

年賀郵便特別扱ひ

十二月二十日から二十九日迄年賀郵便の特別扱ひがあります。此の期間内は規定によつて差出した年賀狀は、その翌年の一月一日の消印を押して、豫め配達局に配送してをき、元日の早旦第一便として各家を訪づれしむることになつてゐます。

冬至（二十二日）

一年中で最も日が短かく隨つて最も夜の長い日です、昔は一陽來復の時季に當るといふので節日として祝つたものであります。

大正天皇祭（廿五日）

畏くも大正天皇の神去りまし〻日です。大正十五年八月十日御病ひを御保養の爲め葉山御用邸に行幸遊ばされて後、十月下旬頃から次第に御病狀重きを拜され、同十二月二十五日午前一時二十五分葉山御用邸に於て崩御遊ばされました、御治世十有五年、お年四十有八、武藏多摩の御陵にとこし

諸學校休業

各學校は大てい二十五日を限りとして多期休業に入ります。

クリスマス（廿五日）

十二月二十五日をキリストの生日として祝福します。アチラでの正月のやうなものです、そしてその降誕の年を紀元の第一年としております。併し後年學者の研究する處に依るとキリストの生誕はそれより四年以前であるといはれてゐます。

大祓（三十一日）

この日午後、全國の神社を初めとして、神を祀るところでは皆大祓への行事が奉仕されます。

除夜（卅一日）

大晦日、年越しのことです。一年の除かれる夜と云ふ意味です。宮中にも除夜の御神事が執り行はれ夜半十二時に至ると各寺院で除夜の鐘をつきます。

へに葬り奉りました

洋服にゲートルで指揮する匪賊の頭目

仲々見事なその統制ぶり だが日滿軍隊には敵はない

皆さん滿洲の匪賊は一體どんな生活をしてゐるのでせう？大體匪賊の生活は上の階級と下の階級との區別がはつきり決つてゐて、お頭の勢力は大したものであります。彼等はお頭のことを大掌といひ副頭目のことを二掌と呼んで居ります。そしてお頭の命令には絶對服從してゐます。

それでお頭には二人のガッチりした若者が附添つてお頭の身を

護衛

したり、又はお頭に代つて外との交渉に當つたりしてゐます。

話は少し古いですが、今年の七月二十八日の晩、午後六時五十分に新京を發した列車が約二時間後營城子と圖們嶺の間に於て匪賊の襲撃を受け日本人の殺害された者九名と云ふ慘事を起しました圖們嶺匪賊の襲撃事件の時この匪賊の三江好といふ親分は四十二、三歳で痩せて脊の高い眼の鋭い男で、かつては三千人の部下をひきゐて北滿方面を荒し廻つてゐましたが、日本軍にこつぴどくやられ一時支那の山東省方面に逃げてゐましたがまたぞろいつの間にかまひもどつてゐたのであります。副頭目には、長銃隊長、拳銃隊長、さらつて來た人を

見張

りする隊長、逃げる時に道を指圖する隊長（之は一番最後にゐます）等の四隊長が直接指揮をして仲々鮮やな統制振を見せてゐます。お頭は背廣服に卷ゲートル大きな拳銃を肩から下げて見るから強そうな格好をしてゐます。

前にお話した列車襲撃の時は約二百名が一團となつてゐたものでそのうち四十名が長銃を持ち、五十名位は拳銃、その他の者は棍棒と云ふ武裝で、荷物運搬の苦力十人馬五頭それに彈藥や掠奪品を一ぱい積んでゐたそうです。

かう言ふ立派な

組織

をもつた匪團が廣い土地を利用して惡い事をしては逃げ廻つてゐるのですから、これを討伐する日滿兵隊さん達の苦勞も並大抵ではありません

童話

大嘘つきの親と子

今木敏夫

昔

江戸に一人、京都に一人、大阪に一人と日本に名高い嘘つきの名人がゐました。ある時、江戸の嘘つきと京都の嘘つきがそろつて大阪の嘘つきの家へ嘘のつきくらべをしようと思つて行きました。すると大阪の嘘つきの七つになる子が出て來て、『お父さんはゐないよ』といひました、『どこへ行つた』と二人は尋ねました。『あのね、この間の大風で富士の山が倒れかかつたさうで、つつかひ棒をかふのだといつて、お線香二本持つて行きましたよ』と、お父さんにもまけない大嘘をいひました。『ぢやあ、おかあさんはゐるだらう』と二人がいふと、『おかあさんもゐないよ、お母さんは天じくの地面が大地震でほころびたといつて縫ひ針を一本もつて縫ひに出かけましたよ』といひました、江戸と京都の二人の嘘つきは、この子の大嘘にすつかりおどろいてしまつて逃げるやうに歸りました。

し

ばらくするとお父さんが歸つて來て『誰か來なかつたかい』といひました。息子は『あゝ、京都のをぢさんと江戸のをぢさんが來ましたよ』そして、お父さんはどこへ行つたといふから、この間の風で富士の山がたをれかゝつたさうで、つゝかい棒をするんだといつてお線香を二本持つて出かけたといひました、おかあさんはと聞くから、天竺が大地震で地面が割れたので縫ひ針を一本持つてつくろひに行つたといつてやつたら、眼を白黒させて歸つて行つたよ、嘘つきの名人なんて弱いもんね』といひました。お父さんはこれを聞いてびつくりして『子供のくせにそんな大嘘をつくなんて、貴樣はおそろしい奴だ、うちにはおけない、捨ててしまふ』といつて息子を炭俵にいれて縄でしよつて行きました

少

し行くと道ばたに酒屋がありました。お酒の大好きなお父さんはその前を通つてプーンと、酒のにほひをかぐともう飲みたくて飲みたくて息子を入れた炭俵は表の松の木のそばにおいて自分は酒屋へ入つて酒をのんで居りました。息子は炭俵に指で少し隙間をこしらへてあちこち見てゐると、そこへ腰の曲つたどこかのおぢいさんが來ました。息子は何んと思つたか、大きな聲で、『若くなれ、若くなれ、若くなれ』となんどもなんども唱へました、おぢいさんはその聲を聞いてへんなことがあると思つたのでせう。『もし／＼、お前さんは、そこで何をしてるのだね』と問ひかけました。

息

子はせきばらひを一つして、『よの中にこの炭俵ほど不思議なものはありませんよこの中に入つて若くなれ若くなれとおまじなひを唱へてゐると誰だつてすぐ若くなるんですよ、私なんか今朝まで腰の曲つたよぼ／＼ぢいさんだつたがこの中に入つて、あまりおまじなひを唱へてゐたので、こんなに若くなつて子供になつてしまひましたよ』といひました。おぢいさんはおどろいて『へーえ、それはまた不思議な炭俵もあつたものだ、わたしも少し若くなりたいから、その中へ入れてくれませんかネ』息子はうまく行つたなと思つて『あ、入れてあげてもいいがね、ただぢやいやだね』といふと、おぢいさんは『お饅頭をあげよう』といふからそこで息子はお饅頭をもらつてその代りにおぢいさんを炭俵の中に入れて、すた／＼お家へ歸つてしまひました。

嘘

つきのお父さんはしばらくしてお酒の匂ひをぷん／＼させて赤い顔をして松の木のある所へやつて來ました。すると炭俵の中が年寄の聲で『若くなれ、若くなれ』と唱へてゐますから、びつくりしてしまひました。大急ぎで炭俵をあけおぢいさんを出しました、そこでおぢいさんからわけを聞いて倘びつくりして幾度もおわびをして、ぷり／＼怒つて家へ歸つて來ました。すると息子はおぢいさんからだましてもらつたお饅頭をうまさうに食べてゐるのでさすがのお父さんもたゞ／＼あきれるばかりでありました

スケッチ　八島小學校五年　笛木泰天畫

新京白菊小學校二年　尾崎三男・畫

うんどう會

室町校二年生　福田昭二

たのしい、うれしい、うんどう會は九月十六日でした。あさ目をさますと、よいお天氣だつたのでぼくはとびおきてはやくおしたくをして、おねえさんとげんきよく學校へいきました。學校の門の日の丸の、はたは、風にふかれてひら／＼してゐました。八時に、みんなあつまつて、君がよのうたを、うたつて、いよ／＼うんどう會が、はじまりました、ぼくたちは、ぼくだん三ゆうしをしました。つなひきでは、白がかちました。ランニングで。ぼくは、四ばんめでした。おしい所で、まけました。一年生とおとうさんだちの、つなひきもおもしろかつたです、ことしは二年生がゆうしようカップをもらいました。

新京室町小學校一年生　牛津悦郎・畫

ウチノアカチャン

室町校一年生　高橋義昌

ウチノアカチャンハ、コトシ二ツニナリマシタ。マイ日ボクガ、ガッカウカラカヘルトエコニコシテキマス。ボクガ、タッタタッタヲシテゴランナトイヒマスト、タッテ手ヲタタイテスコシヅツアルキマス。ゴハンヲタベル時ニハ、ハンダイノ上ヲカキマハシマス。アマリイタヅラヲスルノデ、オカアサンガゴハンヲサカヅキニ入レテヤリマスト、アカチャンハヨロコンデ、ユビヤオロニ、一パイゴハンヲツケテタベマス。マダアマリモノガイヘマセンガ、モウシバラクスルト、イロイロオシヤベリヲスルヤウニナリマスサウシタラ、モツトカハイラシクナルデセウ。

作文

初雪風景

家政一年　宗夏女

雪になるだらうと思つた昨夜の雨が、果して一夜の中に地を埋めてしまひ、今朝は一面の銀世界である。

空がどんより曇つて居る爲に、太陽の姿はないが、若しあれば目にしむ程の明るさであらう、それでなくても明るいのだから……

昨日迄はつひぞ寒さを感じなかつたのに何と今日の冷たい事、窓越しに見る雀が鳴きもせず寒さうに縮んで居る。毎朝ごみ箱にきつとニーヤが探しに來るのに、今日に限つて一人も見えぬ。何をしてるのだらうか、ニーヤだけでなく通る人もないと見えて、前の寺の道等、足あと一つついてない。あの雪上に寢たらどんなに暖かいだらう。雪といふ氣はせず綿の樣に思はれる。

××

豫期しながらもそつとドアを開いた。寒い。鼻がじんとして涙が出た。苦力が掃いた所をざく／＼踏みしめてすべらないやうに足元を見つゝ急いだ。小さい子等が可哀さうにふるへながら學校へと急ぐ。

手袋の破れから風が入るせいか、指元の神經が脱け出たと思はれる程冷たい。出がけにオーバを着ないつもりだつたが父に叱られて、いや／＼ながら着たものゝかうなると先刻の恨が消えて有難かつた。

馬車の馬が後から追越して行く。見ただけで寒さうだ。動物つてどうして夏も冬もあの毛皮で間に合ふのだらう。など變な所で質問が頭に浮んだ。

目ざす學校に辿りついて、ドアをあけた途端に、スチームの暖さが身にしみて、春になつた樣な嬉しさを感じた。

××

此の暖い教室から出て、又外へ出ると思ふと嫌だつたが仕方なく友と二人で歸校の途についた。

「今日は零下何度位だらうか五、六度は下つて居るわ。」

「朝鮮に居る時零下十五度まで下つた時に比べたらまだいゝわ」と、口早に朝鮮から來た友が答へた。

「まあ、さうしたら去年は二十度に下つたわよ」と入らぬ所でちよつと新京の寒さをゐばつてやつた。

友と別れて一人、冷たい手に息をかけながら早く家につからうとあせると轉びさうになる、自動車の中に暖かさうに腰かけて居る人を見ると、羨やましい心が起る。やつと家近くまで來た時ニーヤが一人薄いぼろを着てふるへがとまらないと見えて、假寳な顔をして居た。と、其の向ふに一人何か食物でもあさつて居たのであらう。其の二人が一緒に出會つて、凍りさうな口で

「寒啊」

と呟やいた。それを見たら自分の服裝と比べて、何だか恥かしさを覺え、歩を早めた。

最早黄昏である。煙突の煙のみ活氣を帶びて、勢よく冷い空氣の中に混合して行く、何時も鳴く鳥の聲も今日は僅かに聞えるだけだ。

日ノマル　福田昭二

新京室町小學校二年生　福田昭二・畫

こずゑでさへづる

新京白菊小學校四年　半田雅子・畫

奉天商工現勢之展望

全滿新聞後援　大同社特約

岡田式 ガソリン 石油 燈

D型七百燭光　P型三百燭光

工事用　照明用　室内用　船舶用　作業用

(各種用途)　(型録進呈)

奉天千代田通四〇(日滿貿易館内)

合資會社 明工社奉天營業所

電話四六四〇番

岡田電氣商會

滿洲配給所 奉天浪速通り

本店 東京・品川

總代理店 三菱商事株式會社

伊關商店 新京日本橋通り　山岡商會 奉天紅梅町　大島商店 哈爾濱モストワヤ街

日滿商行 大連市櫻花臺　三信公司 奉天浪速通り　和登商行 哈爾濱道裡地段街

諸官省指定工場

遞信省　鐵道省　海軍省　陸軍省　各總督府　滿鐵　電々會社　其他

滿洲櫻

其の香　其の色　豐醇無比

櫻屋酒類株式會社

銘酒 金鶴

朗らかに飲み給へ!當る……

あたる

姉妹品 ハックル 酒

一升一瓶一本で¥30.00!

滿洲第一のよいお酒

等級	當籤金		一組ノ本數
壹等	商品券	¥30 00	2本
貳等	〃	¥10 00	3本
參等	〃	¥5 00	5本
四等	〃	¥2 00	10本
五等	〃	¥1 00	20本
六等	御買上ゲノ節拜呈ノふきん一筋		10,000本

當籤金　一組壹萬本に對する組合せ

發賣元

嘉納合名會社奉天支店

奉天青葉町二

演藝

中國映畫問題と滿洲國映畫文化運動（一）

王化純

一、前書

現在の滿洲人のための映畫は中國映畫である、滿洲國は未だ國産映畫を持つてゐない、滿洲人は映畫に對しても、ラヂオと同樣に自個の映畫を持つてゐないのである中國映畫に對しては、滿洲國國民の指導者達は無關心では居られない現狀に在る。

康德元年七月一日から同二年六月末日までの一ケ年間に輸入された中國映畫は、三千七百三十四卷、六十三萬二千四百五十七米で、民政部檢閱總米突數の三割四分强となり米國映畫に次いで第二位を占めてゐる、この中國映畫は全滿六十餘の常設館（假設興行場を入れると百十一館になる）で連日上映されてゐる譯である。

斯の如き狀態で中國映畫は今後益々輸入數量を增加するものと思はれる、この傾向は滿洲國として誠に寒心に堪へない問題である。吾々は改めて中國映畫を研究し、滿洲國映畫文化運動に關する諸問題に就いて檢討して見る必要を痛感するのである。

二、中國の映畫國策

中華民國國民政府中央宣傳委員會の電影科は一九三三年に決定公布した「中國映畫事業の進むべき路」を實踐し、「中國電影事業指導委員會」を運用し、全國の映畫事業の指導統制に力を注いで居る「中國電影事業指導委員會」の目的は規則第二條の示す通り

一、全國映畫事業を指導し、映畫宣傳策の增進を謀る

二、映畫宣傳事業を計畫し、中央宣傳委員會に提供する

三、中央宣傳委員會に研氣事項を交付する

と明文に在る如く、映畫による國家宣傳を主要の目的としてゐる、更に同委員會の下に電影劇本審査委員會を設けてゐる、この審査委員會は中國映畫製作に對し一つの國家的關所になつてゐる、規定第二條に

凡そ中華民國々内に設立された映畫會社（中國資本或は外國資本を論ぜず）或は個人にして製作予定の映畫脚本は本會審査法に依り登記すべし

とある、中國映畫の脚本は必ず審査委員會の審査を經て登記しなければならないのである審査委員會は、三民主義に反する內容の脚本は決して通過させない、出來る限り中國の國家的宣傳「イデオロギー」を織り込むのである。更に中國中央宣傳委員會は、自主的製作の要を感じ、本年七月南京玄武湖畔に東洋一を自誇する、中國國立映畫製作所「中央電影撮影場」を開設し

文化、宣傳映畫の製作を開始してゐる。

これ等の中間映畫關係の官民の努力と組織とは吾々滿洲國に於ける映畫文化運動に關係ある者として等閑視し得ない問題である。今日滿洲に輸入され、滿人大衆の最も人氣を博してゐる中國映畫は、三民主義の色香を持つて「グンダン」と滿人の思想、感情に迫まつてゐるのである、重ねて云ふ、中國映畫は何等の形式で三民主義的「イデオロギー」を持つてゐる事を忘れてはならない。

輝ける百合

パラマウント映畫、一つの典型的なプログラムピクチャーとしてのクローデット・コルベールの主演映畫英國の貴族（エドワード・グレーヴン）とも知らず戀をしかけた職業婦人コルベールの哀話を取り扱つたものでウエズリイ・ラッグルスの監督になる作品である、原作はジャック・カークランドとメルベイル・ベイカーとの手になるオリヂナルもの、撮影はヴイクター・ミルナー、「ブルースを唄ふ女」でいゝ咽喉を聞かせたコルベールがこの映畫でもいゝ聲を聽かませる、都會生活者の疲れた心の何處かに巣くらつてゐる淡い理想、摑んでゐる辭、見るべきものがあらう（大滿長春座上映）スチールは其一場面

龍春電影院の「風雲兒女」

城內龍春電影院では三十日より中國電通公司作品、王人美主演トーキー「風雲兒女」を上映するが、同映畫は中國最近の佳作として評判高きものである

川崎弘子の新妻役

あほらしいやら嬉しいやら

蒲田野村浩將監督が第十一回興太者映畫として着手した全發聲「與太者と若夫婦」は正月第一週映畫として目下天城山方面ロケ敢行中だが同映畫で面白いのは純情の花嫁として曩に福田君と結婚式を擧げた川崎弘子が新婚旅行より歸へると早々連日連夜仕事に熱中、而もこの出演役柄が又新婚早々の新妻だけに皆うれしい樣な悲しい樣な氣持で撮影見物をした

J・O社作品直配開始

J・Oでは東寶系封切落ちの同社作品の全國直接配給を開始する事になり大阪市南久太郎町のJ・O事務所に配給部を設置したが今回同社の小岩正直氏が配給第一線に立つて活躍する事になつた、尚關東地方は大阪ビルの大同商事株式會社を代理店として配給を統轄する

爆笑チーム新作

近く輸入される名喜劇チームのローレルとハーディ共演のメトロ爆笑劇「極樂槍騎兵」に次ぐ新作品はバルフエの有名なライトオペラ「ボヘミアンガール」と決定しハル・ローチが自ら總指揮に當る事となつた

英名優グエンの作品

—デュポンが監督—

英國劇壇の名優エドマンド・グエンはメトロに入社してモーリン・オサリヴアンと「ビショップ・ミスビヘーヴス」に出演中だが監督は「ヴアリエテ」の名匠E・A・デュポンの渡來第一回作品だけに期待されてゐる

菊地幽芳の「乳姉妹」

大都映畫では明春の超大作として菊地幽芳原作の「乳姉妹」を映畫化すべく同家に交涉中であつたが十五日快諾を得たので直ちに準備に取りかゝつた、尙主演は琴糸路となる筈

音と影

小津安二郎の「東京の宿」は年一度の作品として矢張り見ごたえのある作品ではあつた、然し小津ももう無聲映畫を放棄しなければならぬ、この映畫は樣式からして既にスタートを過つてゐる日本映畫のファンも既にサイレントでは大變に勝手の違つた感を懷くに違ひないのだ、吾々の小津への期待は最早やトーキー進出だけにかゝる▲ヴイダーの「麥の秋」も愉しめる作品である、今週は三館ともに極めて映畫的な作品を樂しませてくれた▲遂々師走に入つた、興行街も歲末景氣に賑ふであらう、豐樂、帝キネの開館、小太夫來演等ありこの月への期待は大きい

今日の演藝街

△長春座—二日まで、阪本武、飯田蝶子、岡田嘉子の「東京の宿」市川右太衛門の「地獄囃子」サリー・ブレーン、チャールス・スターレットの「流線型超特急」

△新京キネマ—二日まで、カレー・モーレー、トム・キーシの「麥の秋」黑川彌太郎、花井蘭子の「追分け三五郎」藤井貢、市川春代、逢初夢子の「大學を出た若旦那」

居住消息

▲中尾文男氏（岡山縣）千鳥町陸軍合同宿舍へ

▲中村佳教氏（山口縣）蓬萊町一丁目八番地五號へ

出生

▲高山昇氏（錦町三丁目七番地）次男崇さん十八日出生

▲渡邊亮氏（八島通り九番地）長女明子さん二十一日出生

死亡

▲太田市郎氏（八島通り二十一號ノ一）妻きよ子さん二十九日午前二時十五分死亡

十二月二日　月曜　壬子　犬安　除　畢宿

十一月二十七日

●一白の人　連戰連勝の大吉日危險に臨むも恐るゝ勿れ乙と午と丁が吉

●二黑の人　消極的態度に依りて災禍を未然に防ぐべし午と壬と癸か吉

●三碧の人　釣り落したる魚の大きかりし如し普請亦凶甲と乙と庚が吉

●四綠の人　一旦の利あらば退きて他日に出直るべき日甲と乙と辛が吉

●五黃の人　杖を見失ひし盲人の如く戶惑ひ多かるべし午と庚と子が吉

●六白の人　煩悶のみ起りて不快に過ごすべき日病注意甲と壬と丑が吉

●七赤の人　親和失はれ反感を生じ易き日融合を旨とす乙と丁と丑が吉

●八白の人　意外の出來事に破綻を招かんとする凶惡日丙と壬と丑が吉

●九紫の人　物事に中折れを生ぜんとす勢に乘れば大凶未と辛と乾が吉

誰が殺したか

（探偵上海 上編）　國枝史郎氏 作　龍造寺 畫

第三の殺人　十八

一四五

第一の殺人から始まつて、既に四人の犠牲者。曰く、星男爵未亡人、杉野前支那公使、富士野淳一、そして、歌姫秋山セキ子これがすべてあの血笑鬼の仕業だといふのか。漸く第三までの殺人が世人の記憶から失はれようとした時、俄然セキ子嬢慘殺に續いて現場に殘された血笑鬼の名刺を發見し、これこそ特種とばかりに與き立てたり。

殺人鬼忽然として現る……

觸るゝもの即ち屍と化す……

首都遂に恐怖の巷となる……

等々の煽情的な標題を使つて、大向うをやんやと云はさう心組であつた。司法當局では、これらの人騒がせな文句を一斷してすつかり諦め切つたのも無理はない。

「大體が城探偵がよくないんだ一にも血笑鬼二にも血笑鬼居もせぬ影法師に吠えつく犬のやうにわいわいするもんだから、世間ぢやそれを面白がつて、手を叩くやうになるのだよ」

「全くさね。今度の奴だつて、何處の馬の骨か分らんのだが、我こそは血笑鬼なりと稱して、堂々人殺しをやつたに相違あるまい。犯罪者の虚榮心といふやつだよ」

「赤城も老耄たのさ。彼方へうろうろ、此方へよろよろ、眼も當られぬ醜態を演じてゐる。いゝ加減馬鹿にして追拂はぬと警視廳が飛んだ赤恥を曝す結果になるぞ」

「贊成だ。總監に赤城馘首を慫慂してやらうぢやないか」

などと、話は飛んだ所迄發展して、赤城探偵の首が危くさへなり掛けた。それを知るや知らずや、第四の殺人が日比谷ホテルに勃發して以來、赤城探偵の姿は警視廳の何處にも發見されず、事によると悟りの早い彼、人心の赴くところを知つて、匆々尻尾を卷いて逃げ出したのではないかと噂とりどり。

――それはとも角舞臺は尚も引續いて歌姫慘殺から全三日を經過した夜の十一時に近い刻限こゝは日比谷ホテル地下室の一隅、ホテル使用人達の溜り場である。

濛々たる煙草の煙、湯の沸く音、ひそひそ話、高笑ひ一階上のホテル廣間では到底見られぬ光景を呈してゐる。それはさうだらう。客の前では、どんな事をされどんな事を眼にしようとも、絶對に沈默をモットーにしてゐる使用人達も底を割れば同じ人間だ。一仕事終つて、自分達の溜りに戻つてくると、先夜食をたべたり、茶を飲んだり、それから來る客去る客の噂から噂へ、今日一日の出來事を思ふまゝに話合ふのは當然のことに違ひない。

「いやもう昨日今日は酷い目に逢つちやつたよ。例の騒ぎで、何しろ客はみんな極度に神經質になつてゐるもんだから、こちらは事毎に叱られてばかりさ」

「御同樣、吾輩の方もさうなんだが。考へて見りや、あの歌姫の女史も有難くないやうなお客樣だつたなあ」

と給仕が二人、寛いだ恰好で茶を啜り合つて話てゐる。他の人々の注意は自然その方に向けられる。

「時に、また犯人といふのは目星もつかないらしいが、矢張り犯人といふのは、警察へ知らせに行くと云つて戸外に飛びだした男だつたのかい?」

「よく分らないが、どうもさうらしい。併し血笑鬼だの何だの云ふけれど、實際はどうやらあの秋山女史に罪があるらしいといふ噂もあるんだよ」

「へえ、それは聽きものだ

（この篇水谷準作）

恐怖の首

殺人鬼忽然として現はる

觸るゝもの忽ち屍と化す

JM-4